



発行者
学校法人聖隷学園
 聖隷クリストファー大学・大学院
 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
 聖隷クリストファー中・高等学校
 聖隷クリストファー小学校
 聖隷クリストファー大学附属
 クリストファーこども園

〒433-8558
 浜松市北区三方原町3453
 電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

『信仰とは、望んでいる事柄を確信し、
 見えない事実を確認することです。』

へブライ人への手紙(11章1〜7節)より

2023年4月開設予定 国際教育学部について

— 教育・保育・心理のスペシャリスト養成 —

聖隷クリストファー大学 国際教育学部長予定者 太田 雅子

2023年度に開設される国際教育学部こども教育学科では、免許・資格の取得を目指すというだけでなく、各学生が厚みを持たせたい領域・強化したい専門的内容を系統的・複合的に学習できるように、3つの系「教育」「保育」「心理」を履修指針として提示しています。これら3つの系の中で将来の方向性に合わせて科目を選択し、自分だけのカリキュラムをカスタマイズします。

「保育」系では、発達支援を必要とする子どもたちに対する深い理解、知識・技術を身につけることができるよう、本学独自の科目を開講し、それらを履修することにより「発達支援士(仮称)」の認定を受けることができるようになります。

「心理」系では、発達支援を必要とする子どもたちに対する深い問題に対して適切に適切な介入ができるよう、新たに公認心理師(学部卒業時には認定心理士)のカリキュラムを設定しました。心理に関する支援を必要とする児童・保護者の相談に応じ、助言・指導などができる小学校教員やスクールカウンセラーなどの教育の領域で活躍する専門職者を養成します。



「教育」系では、国際的視野やこれからの時代に求められる資質・能力を育むことができる教師・保育者となるために、国際バカロレア教員認定資格(IBECC)や国際教育実習などのプログラムが設けられています。

「心理系」では、はじめ、不登校、虐待など子どもたちが抱える

詳細は下記QRコードよりご覧ください。



聖書のことば

聖隷学園 宗教主任 永井 英司

「宗教」という言葉は、ローマ皇帝に訴するパウロの旅の記事に2回だけ出てくる。これに対し「信仰」という言葉の使用頻度は高く、本書の11章だけで28回を数える。聖書は所謂「宗教の書」を超えた「信仰の書」に他ならない。

本書の記者は、伝統的ユダヤ教社会の只中で生活するユダヤ人キリスト者に対し、信仰の祖と呼ばれる父祖たちの名前を挙げながら、信仰は単なる理念ではなく、一人の人間が神に従って生き貫く姿勢そのものであると訓えている。

更に、父祖たちは、神の約束に信頼し続けながらも、その成就を見ることはなかったが「永遠に存続する希望(ロマ8:24、IIコリ4:18)」によって救われ、神の約束の証人として生き貫いたとある。記者はこの生き様にこそ、信仰の模範があることを言明している。

信仰の先達である父祖たちは、今日の私たちにも、イエス・キリストを仰ぎ見て生きるよう語り続けている。

宗教の原義が「神と人の破れた関係を再び結び合わせる」と言う希望に満ちていることを、本学が忘失することはない。

— Global School Course — SEIREI Christopher High School

中学校グローバルスクールコース開設 クリストファー小学校からの学びの継続の様子

中学校グローバルスクールコース 副校長 中野 学也

中学校に「グローバルスクールコース」が開設され半年余りが経過しました。グローバルスクールコースは、聖隷学園の建学の精神を礎に「英語イマージョン」と「探究型学習」を教育の柱として、これからのグローバル社会で活躍する若者を育成することを目指し、クリストファー小学校からの継続の学びを進めています。初年度である今年度は、クリストファー小学校からの内進生11人に外部の小学校からの入学者4人が加わり、合計15人の1学級でスタートしました。まだ少人数のコースではありますが、本校独自の特徴ある教育を展開していくことができるよう日々奮闘しているところです。

グローバルスクールコースの英語イマージョン教育では、英語運用能力を高めることに加え、英語と日本語の違いや自分と世界の人々のコミュニケーションの方法や価値観の違いに気付く機会を生徒に与えることを重視しています。それは、これからのグローバル社会で文化・価値観の異なる人々と協働する際に重要とされる俯瞰的視野を育む狙いがあるためです。したがって、各教科の学習の中では、学んでいる一つ一つの事柄が自分とどのような関わりがあるのか、世界のどのような事柄と関係しているの

か、また、視点を変えればどのように捉えることができるのかということについて考える機会を持つようにしています。



▲英語で学ぶ社会(左)と理科(右)の授業の様子

探究型学習では、学習の基本となるコミュニケーション能力や他者と協働する力、自己管理能力、リサーチスキル、批判的思考力等に焦点を当て、生徒が自立した学習者へと成長することを目指して指導を行っています。

これらの狙いに従った教育ができていないかを検証するために、各教員が自己評価シートを用いた指導の振り返りを行うとともに、生徒、保護者による授業・学校生活アンケートを実施しました。このような振り返りを定期的に行い、教育内容や指導計画の改善につなげていきたいと考えています。また、今後は生徒が教室の外に出て、体験を通して学びを深めていくことができる機会を増やしていきたいと考えています。



▲英語で学ぶ数学の授業の様子



▲マイクロプラスチックについての発表の様子

SEIREI Christopher Elementary School

聖隷クリストファー小学校が目指す教育

聖隷クリストファー小学校 校長 太田 雅子



聖隷クリストファー小学校 (Seirei Christopher Elementary School=SCES) が目指す教育は、子どもを祝福し、生かす働きでありたいと思います。子ども一人ひとりを価値ある存在として、あるがままに受け入れ、その幸せを心から願い、全人格的な成長を促すことだと考えます。子どもが自分自身を大事な存在であるというアイデンティティを形成すること、他者を尊重し、隣人に対して愛を持って積極的な関わりを持つこと、自分の良さや可能性を伸ばしていこうとする態度を身につけることを学習の土台に据えたいと思います。

国際バカロレア (IB) 認定校に向けて

現在、SCESは国際バカロレア (IB) の候補校であり、認定校に向けて準備を進めています。IBは教科等の学びに留まらず、世界の様々な事柄に関心を持ち、意欲的に探究していくというものです。「自分」という存在を中心として周囲の世界の「ヒト」「モノ」「コト」を探究し、それ



らについて理解を深めること、真実を探し求める構えができるようにすることです。これらの探究的学習においては、子どもたちが別々の事柄を統合する方法を発見し、学んだことを自分の人生に関連づける、意味づけることができるように働きかけます。

SCESの学習の形態や環境は多様性を重視して作られています。教室の自分の机だけにとらわれない学習場所となっています。畳やカー

ペットが敷かれたコーナー、ソファ等があり、リラックスして話や読書をしたりすることができます。

小学校の今後の取り組み

これからの取り組みとして、「食」に関する教育を進めて行けたらと考えています。健康的な

食のあり方を考えること、一緒に食事を楽しむこと、料理をしたり、野菜の栽培・収穫を体験したり、季節や地域 (外国) の



料理を味わったりするなどの機会を積極的に設けたいと思います。さらに、探究的学習等の一環として、食の安全や信頼にかかわる問題、食料輸入への依存、世界における食料供給の不均衡など食を取り巻く環境や社会的課題についても向き合うようにしたいと思います。将来ビジョンとして、給食の提供 (カフェテリア等) ができることを願っています。



TOPICS

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

グローバル幼児教育・保育の推進について

— クリストファー小学校との連携 —

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 園長 武田 真理子

日々の生活の中での学び

こども園では、今年度もグローバル教育の一環として、3歳以上の各クラスに1名ずつグローバルスタッフを配置し、子ども達が毎日の生活や遊びの中で、自然な形で英語に触れる時間を作っています。これらは、英語を理解することだけを目標とするのではなく、多様な文化に触れ、人が持つ違いの違いとして理解し、尊重の精神を培うことの一つとして導入しています。



▲しずくさん、こんにちは!



▲雨上がりは不思議がいっぱい

子ども達は、雨上がりの園庭での泥あそびや、夏のプール遊びなど、その季節ならではの遊びを存分に楽しみ、その時々起こる感動や感情を、友達やグローバルスタッフと共有します。また、年長組は、毎週グローバルスタッフと一緒に少人数で、森(Mガーデン)に出かけます。Puffy(フワフワ)、pointy(トゲトゲ)など、五感を通して互いの感覚を伝え合ったり、たくさんの木々や小さな命と出会ったりして、季節の移り変わりを感じながら自然に身を委ねます。次々に現れる森の登場人物達は、私たちに多様な命の繋がりを教えてくれます。次第に子ども達は言葉の壁を越え、一人一人が持つ感覚や考えの違い、また様々な繋がりや経験を通して、子ども達同士も互いの違いや良さを認め合い、助け支えあえるコミュニティを自ら創りだす人へと成長することを願い、保育しています。

PYP導入に向けて

今年度より、国際バカロレア初等教育(PYP)認定校に向け、こども園と小学校は3歳から12歳までのプログラムをスタートさせていきます。幼児期は元々横断的で総合的



▲コミュニケーションで繋がる想い

なカリキュラム構成ですが、PYP導入により、保育教諭がより深く、子ども達に何を体験させたいのか、何のための誰のための学びかに注視すること、また一人一人の関心や異なる経験・知識においても、細やかなアセスメントにより、個々に寄り添う教育・保育が展開されることが期待されます。そのため保育教諭は、学びと話し合いの時間がこれまで以上に必要となります。小学校と密に連携し、コーディネーターを中心とした一貫したカリキュラム作りは、今後の子ども達の学びをより深く豊かにすることと思います。現在クリストファー小学校の学習空間は大変興味深く、活き活きと学びが可視化され子ども達の力を感じます。それぞれの発達段階を踏まえた上で、幼児期にしか経験できないことをベースとし、生涯に渡る「学びの喜び」へと繋げていくことを目指します。



▲子ども達の素敵なセンスオブワンダー



▲森での火起こし&クッキング



▲森(Mガーデン)でのグループミッション

TOPICS 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

専門学校新校長のご挨拶



このたび、横尾 恵美子前校長の 退任に伴い、校長に就任いたしました野田由佳里と申します。

日頃より、介護福祉士養成の教育に際しましては、皆様方からの温かい、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

多くのつながりの中で実を結んだ介護福祉専門学校が開校して、7年目になりました。2代目校長として、隣人愛の理念のもと、先達から引き継がれたものを大切に、社会情勢の変化の中でも揺るぎない介護(ケアのあり方)を学ぶ機会を学生に提供



▲学内医療的ケア演習の様子

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 校長 野田 由佳里



▲休み時間の楽しいひと時

したいと考えています。学生達が専門学校で過ごす2年間は決して長い時間とは言えませんが、その短い時間の中で支えられる経験、豊かな経験、成功体験を多く持ち、「介護職」としての基盤を醸成できる場となることを希望しています。多角的な視点を持つための情報を集めることや、弱い立場の人についても心を寄せる人であって欲しいと願っております。前校長同様、介護現場に温かい心を持った介護福祉士を一人でも多く輩出できるように職務に邁進し使命を果たしてまいります。

さて専門学校の新校長ですが、新型コロナウイルス感染症第6波、第7波の合間をくぐるような綱渡りではありましたが、介護実習Ⅰの1年次生、介護実習Ⅱの2年次生全員が実習を無事終えることができ安堵しているところです。



▲新任の西藤宏之先生と1年次生

TOPICS 聖隷クリストファー中・高等学校

2022年度入試結果

聖隷クリストファー中・高等学校 進路指導部長 大藪 哲也

2022年度入試においては、横浜国立大学などの国立大学に27人(過年度生1人を含む)が合格することができました。なかでも、徳島大学と静岡県立大学の薬学部にも1人ずつ合格。県内の国立大学では静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学に8人が合格。また、私立大学では、聖隷クリストファー大学の47人をはじめとし、難関私立大学(国際基督教・東京理科・明治・青山学院・中央・法政・関西・関西学院・立命館)に21人合格しました。大学合格者の総数は、延べ377人に上っています。各担任が生徒の状況に応じて綿密に進路指導計画を立て、粘り強く励ましながら生徒の進路実現に向けて奔走しました。また、9月からは全教員が分担し、個別に面接や学習指導を行いました。今年度も、全教職員が一丸となって、生徒一人一人が納得のいく進路の実現を、精一杯サポートしていきます。





聖隷クリストファー中・高等学校

今、聖隷クリストファー高校の部活動が熱い!!

高校総体全国大会 初のベスト8



男子バレーボール部

小野駿太君(2年)U-18日本代表に選出。
今夏イランで開催されたU-18アジア選手権に全試合出場し、日本の優勝に貢献。



全国大会 創作ラジオドキュメント部門 全国5位相当 テレビドラマ部門 全国6位相当



放送部

高校総体 男子・女子全国大会出場



少林寺拳法部

高校選手権大会 全国大会出場



かるた部

野球選手権静岡大会 ベスト4



野球部

県高校総体 初の準優勝



女子ソフトボール部

県高校総体 初のベスト4



女子バレーボール部

県高校総体 初のベスト4



女子サッカー部

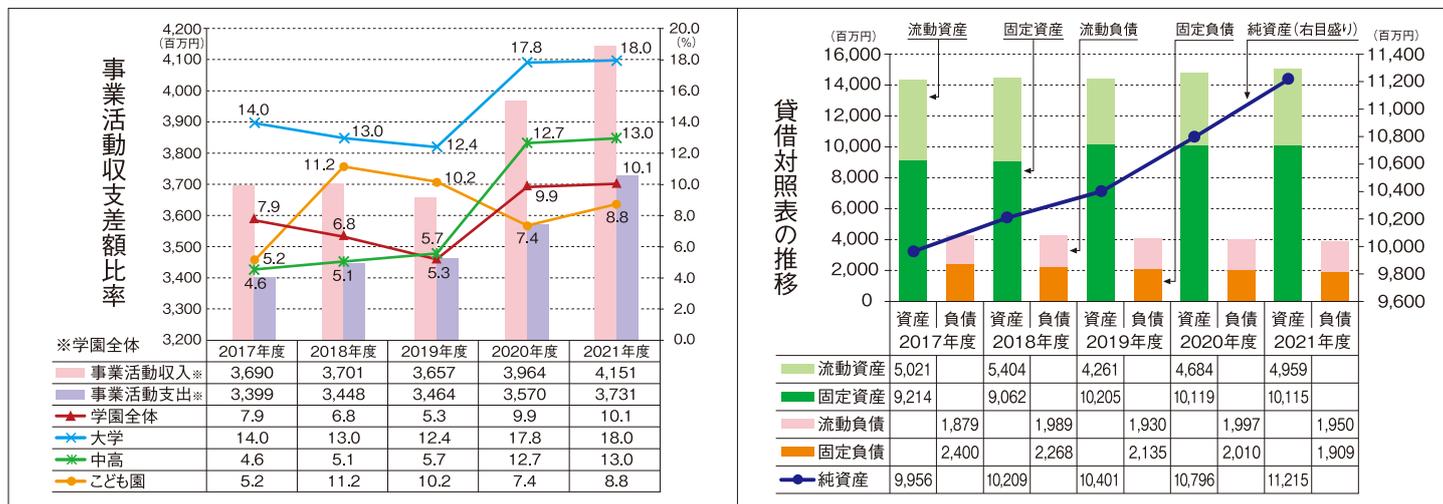
県西部大会 高校A編成 金賞

吹奏楽部

2021年度決算における財務状況および2022年度予算の概要

◆2021年度決算について

1. 学生・生徒・児童・園児数は高等学校入学者増、小学校学年進行に伴い、前年度から204名増加し、学園全体で3077名となりました。定員充足率は学園全体で96.4%(対前年度2.7ポイント増)となりました。
2. 学校法人の事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、2021年度の財務状況は学園全体の収支(事業活動収支差額)がプラス10.1%(4億1979万円)と計画を上回って改善しております。(大学法人の全国平均値は4.6%です)
 ※事業活動収支差額は損益計算書の当期利益にあたります。なお、経常収支差額は、プラス9.1%です。
3. 2021年度末の総資産150億7441万円に対し、有利子負債は14億9801万円となりました。純資産額についても4億1979万円増となり、学園新規事業用財源も25億5344万円確保できる見通しとなりました。



各学校の状況

2021年度もコロナ禍においても学生生徒達の学修機会を安全・安心に確保できるよう、教室改修・ICT環境整備やエアコン取替などの教育保育環境充実を行いました。

1. 大学の収支は安定した状況を継続しております。2021年度は、4号館耐震補強工事5170万円を行い、国からの補助金1454万円を受けました。これにより耐震化率は100%となりました。その他、教室改修やAV機器増設など1154万円、また継続的に行なっている教室等エアコン取替工事1782万円、LED照明交換工事1021万円、トイレ改修工事など行いました。次年度以降も学修環境整備を計画的に行っていきます。
2. 専門学校は前年度より収支差額が4,696千円増と改善、今後も入学者の確保に努めてまいります。
3. 中・高等学校においては、高等学校入学者増の対応として教室改修・備品購入等4454万円、また、多様な学習に対応できるようネットワーク整備(LAN補強工事・AV機器更新)1889万円、施設面においてもエアコン取替、校舎清掃など行いました。
4. 小学校は、2021年度に全学年が揃いました。収支差額は対前年度1692千円増となり、学年進行に伴いさらに改善していく見通しです。今後は、支出の約6割以上を占める人件費のコントロールが課題となります。
5. こども園は、継続的に園児を確保できており、収支は安定した状況です。感染対策に重点を置き、教育保育活動を行ってきました。なお、小学校とこども園では、2022年1月に国際バカロレア初等教育プログラム(IB PYP)の候補校として認定されました。今後は2024年3月に向けてIBワールドスクール認定、および本学独自の「聖隷IBモデル」の実現を目指していきます。

◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を指標により14区分に分類しています。2021年度決算についてこの指標による判定の結果、本学園は上位から3番目のA3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



(2022.10現在) 2022年度事業計画および予算の執行状況

2022年度の主な事業計画は下記のとおりです。予算は中長期財務計画をひとつの指標とし、事業計画に沿った予算申請、査定を経て編成しております。

- 《法人》
- 1) グローバルスクールの構築 小学校から中・高等学校へと進むグローバルスクールの国際バカロレア教育をふまえたカリキュラム、教員配置計画の策定
- 《大学》
- 2) 国際教育学部開設準備
 - 3) 新教育課程の実施及び看護実践力を高めるための教育(看護学部)
 - 4) 公認心理師養成課程開設準備(社会福祉学部)
 - 5) 国際リハビリテーションコース及び国際保健医療福祉プログラムの着実な展開(リハビリテーション学部)
- 《中・高等学校》
- 6) 教職員の資質能力及び組織力の向上(教員研修等)
 - 7) 基礎学力の定着(ICIT環境整備等)
- 《中学校グローバルスクールコース》2022年開設
- 8) コースの独自性・特徴を生かした教育活動を実施
- 《小学校》
- 9) 建学の精神及び教育理念に基づいた学校運営及び教育活動の実施
 - 10) 国際バカロレア初等教育プログラム認定校(IB PYP)に向けて「聖隷IBモデル」の実現(こども園と連携)
- 《こども園》
- 11) 森を活用した自然活動(3年計画の3年目)

2022年度は上記の事業計画を含め、法人全体の当初予算収支差額は8804万円(事業活動収支差額2.2%)程度にとどまる見通しです。2022年主な事業として、中・高新ソフトボール場整備工事(2022年8月着工、2023年3月完成予定)4億7340万円、学園駐車場整備(2022年10月利用開始)4721万円を計画し、現在、順調に整備が進められております。この他、ICT環境整備2508万円やエアコン、LED照明取替工事7440万円を計画しており、教育環境の充実をはかっていく予定です。今後、当初予算の検証と予算の有効活用を図り、新たに必要となる支出を精査し、第一次補正予算編成を行います。

中・高等学校 新ソフトボール場の整備について

本学園は、現在の中・高ソフトボール場敷地内に中・高等学校グローバルスクールコースの新校舎を建築する計画です(2023年着工、2025年使用開始予定)。それに伴い、現在のソフトボール場は、金指街道東側の土地に移転します。新ソフトボール場は、2022年8月から2023年3月にかけて建設工事を行い、2023年4月から利用を開始します。施設概要は右記をご覧ください。新ソフトボール場の移転を通じて、より充実した教育設備、教育施設を目指してまいります。なお、工事期間中は近隣の皆様方に音や車両の通行等でご迷惑をお掛けしないよう、細心の注意を払い工事を進めてまいります。

新ソフトボール場 施設概要

※2022年10月現在

ソフトボール場

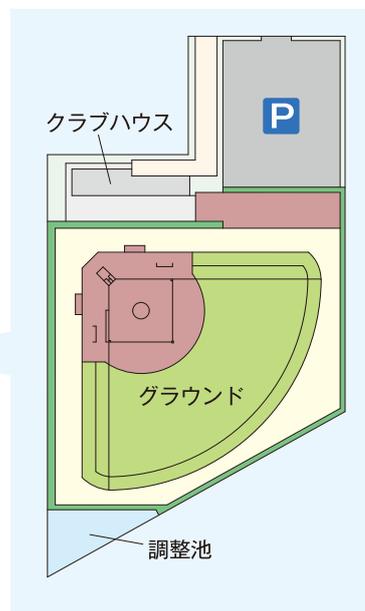
外野は人工芝
防球ネット13m・10m
夜間照明6基

クラブハウス

鉄骨造1階建

駐車場

乗用車、大型バス、マイクロバス



聖隷英会話スクール・テニススクールについて

聖隷学園は地域の皆様の生涯学習および生涯スポーツの貢献を目的として、「英会話スクール」および「テニススクール」を開講しております。年度途中の入会も随時受付しております。

聖隷英会話スクール・テニススクールの特長

1. 低料金で受講が可能です。
英会話：1レッスン(90分) 1,200円(1回当たりの料金)
テニススクール：月額3,000円(週1回)
2. クラスは曜日・時間帯に合わせて開講しています。
3. 初回無料体験が可能です。※要事前申込
4. 年度途中からの入会も心配ありません。



※詳細は聖隷学園HPにてご確認ください。
定員に達している場合もあります。

お問い合わせ先：聖隷学園 法人事務局 企画部 TEL053-436-5311

聖隷学園

検索